



持続可能性報告書

サステナビリティレポート2018

札幌大同印刷株式会社

<http://www.dioce.co.jp>

[本レポートに関するお問い合わせ]

札幌大同印刷株式会社 本社制作室（環境保全担当）
TEL 011-897-9711（代表）

環境情報 Ecology Report
<http://www.dioce.co.jp/daido/iso/>

札幌大同印刷株式会社

目 次

- 01 会社概要
- 02 トップメッセージ
- 03 経営理念・行動指針・ビジョン
- 04 環境保全**
 - 私たちの暮らしの中に身近にある印刷を通して地球環境の保全と持続可能な社会の実現に向けて次世代につなげる架け橋となります
- 04 環境方針・環境目的目標
- 05 印刷事業フローとマテリアルバランス
- 06 環境方針重点テーマの取り組み概要
- 07 環境に配慮した印刷物の一例

編集方針

サステナビリティレポート2018について

サステナビリティレポート2018は、私たちを支えていただく多くのステークホルダーの皆様との対話を図るために、重要なコミュニケーションツールとして位置づけをするとともに、成果や問題点、各部門の取り組みなどを全従業員が共有することを目的として作成し、報告するものです。

限られた誌面の中で、活動のすべてを掲載することは出来ませんが、札幌大同印刷の等身大の報告としてご理解いただければ幸いです。

対象期間

2018年1月1日～12月31日

2018年度の活動を中心としましたが、一部の項目については過去及び現在継続中の物も含まれております。

対象範囲

札幌大同印刷株式会社における活動や実績を中心に掲載しています。

08 事業慣行

印刷というモノづくりを研鑽するとともに良識ある企業活動を展開し社会から信頼される必要とされる企業を目指します

10 トピックス研究 INSATSU Laboratory Press

11 労働慣行

安全で安心な職場づくりと多様な価値観から多くのチャレンジが生まれる人が輝ける会社づくりに取り組みます

12 地域社会

企業市民として地域社会の課題解決につながるコミュニティへの参画と本業を通じて貢献し地域社会に根ざした活動を続けています

本レポートの仕様

本レポートは、環境への負荷軽減を出来るだけ低減すること、また、より多くの人が見やすいよう、色づかい、文字の書体などに配慮したデザインを心掛けて作成しました。

■ オンデマンド印刷

小ロット印刷に適したオンデマンド印刷を採用し、印刷時の原版と電力、印刷用紙の使用量抑制に努めました。

■ 本レポートに使用した印刷用紙

本レポート用に改めて印刷用紙を発注するのではなく、事業活動の中で余ったり、古くなつて製品として使用出来なくなつてしまつた印刷用紙を使用しています。

※今回使用した印刷用紙 ダイヤペーパー 150Kg

■ 表紙の色 董色(すみれいろ)

少し青みがかった紫色の董の花からきた色名。董の花は万葉の時代から愛され、平安時代から使われていました。

会社概要

社 名 札幌大同印刷株式会社

SAPPORO DAIDO PRINTING CO.,LTD.

創 業 1954年8月10日(昭和29年)

資 本 金 56,950,000円

従 業 員 数 76名(2018年6月現在)

所 在 地 厚別本社／制作室・製造部

〒004-0003

札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号

電話 011-897-9711 (代表)

豊平営業所／営業本部・企画室

〒062-0905

札幌市豊平区豊平5条5丁目2番25号

電話 011-823-6115 (代表)

ホームページ <http://www.dioce.co.jp>

事業概要

[商業印刷]

パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ・ポスター・カレンダー・メニュー・会社案内・写真集・雑誌・PR誌・会報誌・社内報・記念誌・書籍・DM・名刺・封筒・POP・パッケージ等

[デジタル関連]

Webデザイン・システム開発・データベース構築・プログラミング等

[その他]

PR企画立案・マーケティング・ノベルティ・グッズ・DVD制作・屋内外広告看板・イベント事業の企画運営 等

※SDGs (Sustainable Development Goals)



モノづくりを通して持続可能な社会の発展に貢献

2015年9月、国連において採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、貧困や飢餓、経済、エネルギー、気候変動、協働など、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、全世界が取り組むことによって「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しており、課題解決に向け企業の積極的な参加が期待されています。

札幌大同印刷は、「表現・言論・出版の自由を守り、印刷文化を通して健全な社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、SDGsが描く豊かな未来社会は私たちの事業活動に深く関わっていることを認識し、モノづくりを通して新しい価値創造を生み出し、持続可能な社会の発展に貢献していきます。



トップメッセージ

レジリエンスを持って社会の変化に対応し、
モノづくりを通して持続可能な社会の発展に
貢献し続けます

札幌大同印刷株式会社
代表取締役社長

本 門 翼

2018年9月4～5日、北海道を直撃した台風24号の被害も癒えぬ直後の6日未明に震度7の地震が北海道を襲い、道内全域で大規模な停電が発生し、電力や交通機関、水道等の社会インフラ機能がストップしました。北海道胆振東部地震と名付けられたこの地震は、山崩れなどによって家屋の倒壊、大量の死者など北海道ではかつて例を見ない程の大惨事をもたらしました。被害に遭われた方々に改めてお見舞い申し上げると共に、亡くなられた皆様には謹んで哀悼の意を表します。

また、改めて災害に対するリスク管理の重要性を認識するとともに、災害時における従業員とその家族の安全を確認すると同時に、正確な情報の共有と発信ができるよう対策を万全にして参ります。

現代は、印刷業界に限らずデジタルの進歩がこれまでの常識では考えられない程のスピードで変化しています。益々予測が難しい時代に対応して、札幌大同印刷が持続的に成長していくためには、新たな発想、技術とこれまで培ってきた経験を駆使して社会の課題解決に取り組み、また、企業としての経済的な価値を一緒に高め、地域社会とより密接に歩んでいくという意識を強く持つことが重要となります。

これからの印刷業は、顧客の指示を待ち、指示通りの事をしていればよいという時代は終っており、指示を受ける前にこちらからの具体的な提案が必要な時代です。改めて顧客の立場に立って見直し、現状把握と分析を日頃から

実践していく必要があります。そのために、札幌大同印刷の従業員一人一人が敏感に社会の変化を捉え、従来の考え方を改めて考え方直し、各部門が互いに助け合って新しい観点で物事に挑戦し、行動していくことで活性化を図らなければなりません。

社会情勢が変化すれば、人々の考え方も変わり、技術もシステムも変化してきます。札幌大同印刷もいち早く現状の社会の変革を把握し、社会に対応して全従業員と共に企業体質を変えて行かなければなりません。本レポートでも紹介しています、紙とインキが生み出す可能性を検証する「INSATSU Laboratory Press」も、私たち札幌大同印刷が社会の変化に対応する新たな挑戦の一つです。受注競争の激化、ネット印刷による価格の押し下げなど、印刷業界を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、札幌大同印刷が持続的に成長していくためあらゆる角度から見直し、もう一度原点に立ち返り、変化を恐れず、レジリエンス～何があっても折れることのない心～を持って社会の変化に対応していき続けたいと考えています。

継続して地域社会が抱える問題に耳を傾け、解決に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献し、札幌大同印刷も持続的に成長してステークホルダーの皆様からの信頼をいただけるよう努力し、札幌大同印刷らしい未来に向けたアプローチで積極的にチャレンジして参ります。

経営理念

私たちは 表現・言論・出版の自由を守り
印刷文化を通して
健全な社会の発展に貢献する

制定 1991年1月1日

行動指針

私たちは お客様の志向を十分に認識し喜ばれ
信頼される企業を創造する

私たちは 職業人としての誇りと自覚をもって
自己の能力を研鑽し發揮するよう努力する

私たちは 互いの人間性を尊重し
幸福の実現を目指す

制定 1991年1月1日

ビジョン

人と人をつなげ、豊かに。

人と人がつながる時。人と街がつながる時。
人と何かがつながる時。
そこにはいつも「伝えたい想い」があります。

さわることも、見ることもできない人の想いを、
ある時は手ざわりのあるもの、
ある時は見て楽しむもの、
読んで心が揺さぶられるものへと
生まれかわるよう、
私たちは印刷技術を通して
ものづくりを続けてきました。

特別な何かを持っているわけでもない
北海道の一企業でありながら、
60年以上にわたって続けられた理由。

それは、お客様ひとりひとりの
「伝えたい想い」と
しっかり向き合える会社であったこと。
ひとつひとつの工程で
伝えたい想いをリレーし、
考え、手を動かし、
私たちにしかできないコミュニケーションを
生みだしてきたからではないでしょうか。

たくさんの伝えたい想いをつなげたい。
人と人、人と街、人と新しい何かを
ものづくりでつなぐ専門家。
そんなしあわせな職業であることを自覚し、
つなぐ技術で人を、街を、豊かにしていきたい。

新たな一步を踏みだす
札幌大同印刷の想いです。

制定 2016年1月1日



環境保全

Environment protection

私たちの暮らしの中に身近にある印刷を通して
地球環境の保全と持続可能な社会の実現に向けて
次世代につなげる架け橋となります

環境方針

制定 2003年3月1日 改訂 2009年3月1日

理念

私たちは、健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と、地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

基本方針

1. 事業活動全般によって生じる環境への影響を認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

2. 事業活動全般にかかる環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、自主基準を定めて管理し、環境リスクを回避します。

3. 環境保全のため、7つの項目を環境管理における重点テーマとして取り組みます。

4. 環境方針を達成するため環境目的・目標を設定し、全事業所・全従業員をあげて環境管理を推進します。

5. 環境方針は札幌大同印刷で働く、または組織のために働くすべての人に周知し、環境保全の意識向上に努めます。また、利害関係者への周知により環境マネジメントシステムの理解と協力を要請すると共に一般の人にも開示し、入手可能とします。

重点テーマ

- 1. 省資源・省エネルギーの推進
- 2. 車両による排出ガスの管理と削減
- 3. 製造過程で使用する有機溶剤などの管理と削減
- 4. 廃棄物の管理と削減、リサイクル化
- 5. 環境に配慮した資材、企画の提案とお客様サポート
- 6. 環境情報の公開
- 7. 地域社会への貢献

2018年度 環境目的・目標と主な取り組み評価

環境方針重点テーマ	目標	主な取り組み評価	
地球温暖化防止対策	省エネルギー CO ₂ 削減	○ 業務効率の改善 ○ エコドライブの啓発	○ 設備の省エネ化推進 ○ 低排出ガス車の導入
環境汚染物質対策	VOC排出量削減	△ VOCの環境保全型化学物質への転換	
循環型社会形成対策	廃棄物削減・資源化 水の循環利用	○ 印刷製造過程でのリデュース ○ 自動現像機水循環システム導入	○ 印刷用紙廃棄前のリサイクル
生物多様性対策	環境配慮型印刷の提案	△ 環境系ラベル印刷用紙の提案 △ 自然エネルギー印刷の提案	
環境コミュニケーション	環境情報の公開 環境活動への参加	○ サステナビリティレポートの発行 △ 社会の環境問題解決に向けたパートナーシップ形成	○ ホームページでの情報公開

印刷事業フローとマテリアルバランス

企業の活動に必要な電力などのエネルギー、紙や印刷版・インキなどの資源投入。印刷や製本の製造過程に発生するの廃棄物などの排出量データを集計し、多岐に渡る環境影響を把握して環境目的・目標に反映しています。

INPUT(投入)	SAPPORO DAIDO (事業内容)	OUTPUT(排出)
エネルギー	営業	二酸化炭素(CO₂換算)
電気 305,728 kw ガス 114.7 m ³ 灯油 4,166 L ガソリン 15,279.59 L	物品やサービス、情報、人などを結びつけます。 企画・制作 企画 お客様に合わせたコンセプトをまとめ、企画立案します。 制作・編集 コンセプトに沿ったビジュアルや文章などを駆使し、表現します。 製版出力 テキストや画像データなどを適切な印刷用のデータに変換します。 刷版 校了となった印刷用に変換されたデータを、印刷用の原版にします。 Web ホームページやプログラムの企画制作をします。	電気 109,145 kg ガス 252 kg 灯油 10,456 kg ガソリン 35,296 kg 合計 155,149 kg
資材・原材料	製造	廃棄物
印刷インキ(植物油インキ) 一般印刷インキ 5,370 kg 特色インキ 353 kg 合計 5,723 kg	印刷 印刷原版を印刷機に組付け、お客様の要求を印刷で再現します。 製本・加工 刷り上がった印刷物を、断裁、折り、製本など、最終的な製品に仕上げます。 梱包・納品 完成した製品を、お客様の指定する形に梱包し、期日までに指定の場所にお届けします。	一般廃棄物 10.40 m ³ 資源化廃棄物 16.34 m ³
印刷用紙 388.5 t コピー用紙(A4換算) 359,875枚 刷版PS版 6,586 kg 製本針金 60 kg		再生資源(有価物) 古紙 142,345 kg アルミ版 6,052 kg 合計 148,397 kg
化学物質	再生資源(産業廃棄物)	
刷版現像液 165 L 印刷溶剤 8,760 L トルエン 1,680 L	廃アルカリ 2,471 kg	
	焼却・埋立(産業廃棄物)	
	紙くず(再生不可) 7,700 kg 廃油(インキ類) 2,500 kg 廃油(機械洗浄油) 902 kg	
	合計 11,102 kg	

環境関連法規制の遵守

製造工程において多くの化学物質を取り扱うため、環境関連法規制や条例、協定などの遵守はもとより、化学物質の流失など起こりうる事故を想定した手順書を作成するなど、環境汚染の未然防止に努めています。

主な環境関連法規制

- ・労働安全衛生法・下水道法・水質汚濁防止法・大気汚染防止法
- ・PRTR法・グリーン購入法・消防法・環境保全のための意欲の推進及び環境教育に関する法律・北海道公害条例・北海道地球温暖化防止対策条例・札幌市火災条例・札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例・札幌市生活環境の確保に関する条例 など

環境研修の実施

環境保全意識の向上と企業活動において様々な場面で必要とされる知識の習得、地球環境問題に対する社会の動向、札幌大同印刷の環境保全への取り組みについて、全従業員を対象に毎年環境研修を実施しています。

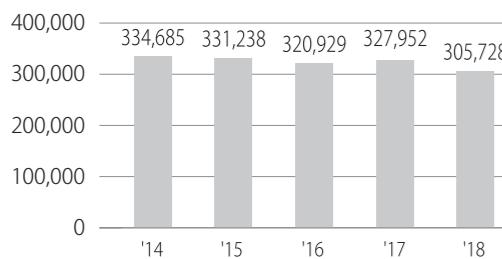


環境方針重点テーマの取り組み概要

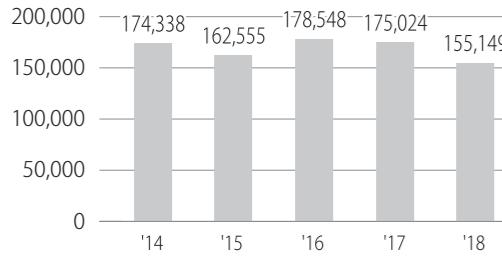
地球温暖化防止対策

オフィス活動では、従来の省エネ活動に加え、クールビズの期間延長、LED照明の拡大などに取り組みました。また、家電製品から製版、印刷、製本に関する大型製造機器まで更新時には省エネルギー効果の高い機器を選択しています。営業・配送車両についても、アイドリングストップはもちろん、CO₂の排出量が少ない車両を選択し、配送はムダのないルート設定を行っています。また、印刷時には風力や太陽、バイオマスなどの自然エネルギーで発電された電力を購入して印刷するグリーン電力制度などのサポートを行っています。

■ 電力使用量 (kw)



■ CO₂排出量 (kg)



COOL CHOICE (クール チョイス)



省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE=賢い選択」に賛同し、地球温暖化防止対策の普及に貢献していきます。

環境汚染物質対策

揮発性有機化合物 (VOC)

印刷機械の洗浄用溶剤などに含まれる揮発性有機化合物 (VOC) は、大気に排出されると浮遊粒子物質や光化学オキシダントの原因となり、大気汚染や健康への影響が懸念されることから、使用量の削減に努めていますが、環境や人体への影響の少ない代替品への切り替えはまだ実現しておらず、今後も新製品の検証など削減への取り組みを継続していきます。

化学物質の適正管理

化学物質の法規制に則り、製品の情報と使用量を把握して適正に管理するとともに、使用量の削減に努めています。

循環型社会形成対策

廃棄物削減・資源化

製造過程で出てしまう廃棄物の適正分別はもとより、3Rを一人ひとりが意識し、環境負荷低減に努め、廃棄物の削減とリサイクル化を推進しています。

印刷の原版(PS版)を作成する際に、自動現像機で使用される水を排水せずに循環させるリサイクル水供給機や現像廃液を濃縮して廃液量を減らす濾過装置により、廃液排出量を大幅に削減しました。また、アルミニウムを原料として作られた印刷原版は分別回収し、リサイクルされています。

生物多様性対策

環境に配慮した印刷用紙の提案

森林の成長と利用を計画的に行い、持続的な生産が認められて森林認証を受けている紙や塩素ガスを使わずに漂白されたパルプで作られた紙、東日本被災地復興を応援する震災復興型カーボンオフセット用紙、エコマーク認定やグリーン購入法に適合しているなどの環境ラベル系印刷用紙など、環境に配慮された印刷用紙の提案に努めています。

間接的ではありますが、生物多様性が地球温暖化と並ぶ深刻な問題と捉え、環境に配慮された紙を使用することで、様々な恩恵を受けている森林に生息する生き物が守られることから、環境に配慮された紙の提案を推進しています。

生物多様性さっぽろ応援宣言



私たちは、水や食材など生物多様性がもたらす様々な恵みに支えられています。その一方で人間生活の影響により1年間に4万種の生物が絶滅していると言われ、生物多様性が地球温暖化と並ぶ深刻な問題と捉え、札幌市の取り組み「生物多様性さっぽろ応援宣言」に参加しています。

環境配慮型印刷の提案

廃食用油などをリサイクルして再生油を原料として作られた植物油インキ(ベジタブルインキ)を印刷インキとして使用。また、印刷時の電力に風力や太陽光、バイオマスなどの自然エネルギーで発電された電力を購入して印刷するグリーン電力制度など、印刷用紙以外でも環境に配慮した提案およびサポートを行っています。

さっぽろエコメンバーアイコン



事業所が自主的に行う環境保全の取り組みを広く市民などに紹介することで、環境に配慮した取り組みの輪を広げ、地球を守るよりよい環境づくり、まちづくりを目指す札幌市の「さっぽろエコメンバー」制度に登録しています。

環境に配慮した印刷物の一例

環境に配慮した印刷用紙や、印刷時の電力を自然エネルギーから発電された電力で行うなど、広い視点から環境に配慮してつくられた印刷物の一例をご紹介します。



札大GUIDEパンフレット
札幌大学様



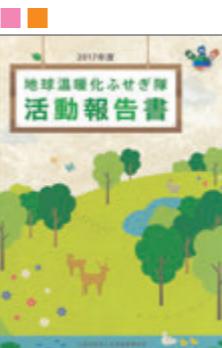
なまら便利なバスマップ
NPO法人ゆうらん様



食育研究会講演チラシ
コープさっぽろ様



エコと防災ミニメッセージチラシ
NPO法人北海道グリーンファンド様



地球温暖化ふせぎ隊活動報告書
公益財団法人北海道環境財団様



真駒内 × 未来のコミュニティチラシ
NPO法人エコ・モビリティサッポロ様



札幌エルプラザパンフレット
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会様



さっぽろスマイルキッズパンフレット
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会様



さっぽろモノヴィレッジパンフレット
株式会社札幌ドーム様



さっぽろキャンドルナイト2018パンフレット
さっぽろキャンドルナイト実行委員会様



さっぽろキャンドルナイト2018実行委員会パンフレット
さっぽろキャンドルナイト実行委員会様

環境保全対応解説

■ ベジタブルインキ

再生産可能な大豆油や亜麻仁油、など植物由来の油、及びそれらを主体とした配食用油などをリサイクルした再生油を原料とした印刷インキのこと。

■ 北海道カーボンクレジット

印刷時に排出されるCO₂が、北海道内で創出されたクレジットを活用してカーボンオフセットされていること。

■ 震災復興型カーボンオフセット用紙

東北地方にある製紙メーカーの工場の紙にカーボンオフセットの仕組みを取り入れ、CO₂削減と東北経済復興を応援する紙のこと。

■ エコロジーペーパー

平和紙業(株)が選定した環境に配慮された紙のこと。

■ 森林認証紙

世界的な基準を満たす正しい管理下の森林から産出されたことが証明されている木材を使用した紙のこと。

■ ECF/パルプ配合

塩素によるダイオキシン類の発生を防ぐため、オゾンなどを使用して漂白を行ったパルプを使用した用紙のこと。

■ グリーン購入法適合品

グリーン購入法の特定調達品目及びその判断基準に適合した商品のこと。

■ エコマーク商品

ライフサイクルを通して環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた紙のこと。

事業慣行

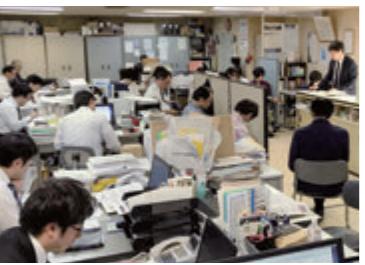
Business practice



印刷というモノづくりを研鑽するとともに 良識ある企業活動を展開し 社会から信頼され必要とされる企業を目指します

個人情報保護の取り組み

お客様はもちろんのこと、取引先様、従業員などの個人情報を適切に保護し、取り扱うために「個人情報保護方針」を定め、JIS Q 15001に基づいた「個人情報保護マニュアル」を策定し、2006年よりプライバシーマークの認証取得をしています。



企業倫理と法令遵守

企業倫理の重要性を理解し、公正で透明性ある企業を目指し、法令及び社会倫理に基づいた事業活動に取り組みます。また、健全な社会秩序を維持し、市民社会に悪影響を与える反社会的勢力への不適切な関係を持つことを禁止します。

コンプライアンス遵守状況

- 環境
- 製品及びサービスの提供・安全性
- 顧客や従業員などのプライバシー
- ハラスマントなどの人権

2018年度において、上記に関する違反、罰則、相談などはありませんでした。

個人情報保護方針

制定 2005年4月1日 改訂 2010年6月18日

理念

大同印刷は、情報化社会において、印刷及びマルチメディア事業の活動を営む企業として、個人情報保護の徹底が重要な社会的責務であると認識し、以下の通り個人情報保護方針を定め、個人情報を適正かつ安全な管理のもとに取り扱い、お客様への安心の提供及び社会的責任の責務を果たします。

基本方針

1. 大同印刷は、個人情報の取り扱いに関し、「個人情報保護マネジメントシステム・要求事項」(JISQ15001:2006)に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、管理責任者を定め、適切に運用すると共に、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
2. 大同印刷は、個人情報の保護に関する法律及び関連する法令、国が定める指針その他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めます。
3. 大同印刷は、個人情報の取得にあたっては利用目的を明確にし、通知または公表し、適正かつ公正な手段によります。また、書面により直接ご本人から取得する場合は、ご本人の同意を得た上で取得します。
4. 大同印刷は、個人情報を利用目的の達成に必要な範囲内で利用し、目的外の利用は致しません。また、目的外の利用を防止するための措置を講じます。
5. 大同印刷は、個人情報を第三者に提供するにあたり、あらかじめご本人の同意を得て、適切に行います。
6. 大同印刷は、個人情報への不正なアクセス、個人情報の紛失・漏洩・改ざん・破壊等を予防するため、合理的な安全対策を講じます。これらの問題が生じた場合には、速やかに是正措置を講じます。
7. 大同印刷は、すべての従業者への教育を通じて、本方針の周知の徹底ならびに個人情報保護の徹底を図ります。
8. 大同印刷は、個人情報の取り扱いを外部に委託する際は、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、必要かつ適切な監督を行います。
9. 大同印刷は、個人情報の取り扱いに関するご本人からの苦情、相談並びに当該個人情報の開示、訂正、削除、利用または提供の拒否などのご要望をいただいた場合には、適切かつ迅速に対応します。
10. 大同印刷は、この個人情報保護方針をポスターや文書、ホームページなどを通じすべての従業者に周知徹底を図るとともに、一般の人にも公表し、入手可能な処置を講じます。

社会の課題解決に

印刷業として社会に与える影響はとても広く、日々の生活情報から、生涯のうち一度しかないような購入情報など、また、広くたくさんの人の情報から、限られた少数の人の情報まで、印刷物を通して社会に与える影響の大きさを自覚するとともに、環境への影響や社会の課題に対して、直接、間接を問わず、企業活動を通して持続可能な社会に向けて貢献していきます。

印刷やデザインを通して、共生社会に向けた教育や文化のコミュニケーション支援、ユニバーサル社会を見据えたやさしいデザインの取り入れなど、印刷の可能性を最大限に生かして、これまでの印刷会社の概念から脱却し、コミュニケーションのプロフェッショナルとして企業だけに留まらず、一般消費者を含めた地域社会をあらゆる方面からサポートするとともに、札幌大同印刷が主体となって取り組んでいきます。

「えほんいち」でつながる未来

デジタル化や核家族化などが進み、現代の子どもたちの人間関係の希薄さ、倫理観の低下などが懸念されています。札幌大同印刷は、紙を扱う企業として、現代の子どもたちにデジタル化した書籍では味わうことができない紙のぬくもりや柔らかな質感など、紙の魅力を発見してもらえたと2013年よりチャリティイベント「えほんいち」を不定期ながら開催しています。

また、絵本を通して親子のコミュニケーションを高め、デジタルコンテンツにはない絵本の役割を引き出し、絵本から生まれたチカラをまた次の人にへつなぎ、子どもたちの感性を高め、成長を育みたいと考え、「えほんいち」を継続していきます。

えほんいち

HP <https://www.dioce.co.jp/ehon/>

ご家庭に眠っている絵本をゆずっていただき、おゆずり頂いた絵本を安価で販売し、売上金を「札幌市さぼーとほっと基金」を通じ、「地域の絆、つながりをつくり、まちを元気にする活動」に寄付し、町内会、ボランティア団体、NPOなど、札幌市民のまちづくり活動を応援します。

※現在えほんいち開催に向けてえほんを回収しており、準備を進めています。



前回の「えほんいち」の様子

事故災害時の対応

地震・台風などによる自然災害や火災などの事故に対し、各事業所で起こりうる緊急事態を想定した手順を定め、避難経路の確認や注意事項など全従業員を対象に研修を行っています。万一発生した場合には、手順に沿った行動に移すとともに、地域社会との連携を図り、災害、事故が治まった際には、原因の究明や予防対策を見直し、再発防止などに努めます。

2018年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震においては、緊急連絡網や万一に備え備品の見直しを行いました。



品質・生産性の向上

印刷物の品質基準の共通指標である「Japan color」の基準に準拠し、①コート紙 ②マットコート紙 ③上質紙と印刷用紙の特長を3つに分類。各用紙の印刷濃度を設定し、品質の安定に努めています。

また、データ作成の段階で写真データの網点濃度を確認し、基準から外れる場合は実際に印刷する紙質に沿った濃度に置き換え、印刷濃度基準の徹底を事前に図ることで、印刷インキの裏移りによる汚れを回避するなどといった印刷トラブルを未然に防ぐことができ、生産性の向上にもつながっています。

また、小ロット、短納期などオンデマンド印刷により社会のニーズの多様化に対応しています。オンデマンド印刷は、オフセット印刷に必要な版を作る工程がなく、印刷原版や廃液、損紙などの廃棄物の発生を抑えるとともに、消費電力も少ないなど環境にも配慮され、コストの削減などにもつながっています。

製品事故の削減

製品事故は、資源の再投入と廃棄物の増加を招き、お客様への安心と信頼を損なうこととなります。

お客様への徹底した確認と各工程の連携を密にするとともに、製品事故を未然に防ぐため作業チェックリストを作成するなどの予防対策を行っています。

また、製品事故発生の際には、速やかに原因の追及と対策を講じ、情報の水平展開に努めた結果、2018年度は前年比で50%削減することができました。

INSATSU Laboratory Press

Communication paper

札幌大同印刷が、創業から64年ものあいだ積み重ねてきた多くの知識と経験、デジタルの新しい技術を駆使して、ワンストップだから出来る印刷実験を繰り返し、印刷が生み出す豊かな表現の可能性を探り、紙とインキの融合性を検証するプロジェクト「INSATSU Laboratory Press」を立ち上げました。「INSATSU Laboratory Press」は、これから印刷技術のイノベーションを生み出すきっかけとして日々研鑽し、その成果を多くの方々と共有し、驚きと感動の提案をし続けていきたと考えています。

Vol,01

モノクロ写真の特性

モノクロ写真をより深くチカラのあるものにしたいとの要望から、立体感を強調して白黒の世界を表現しました。



Vol,02

蛍光インキを効果的に使う

鮮やかな水彩画の再現性を高めるために、マゼンタのインキを蛍光ピンクに置き換え、メーカーの発色を比較しました。



Vol,03

上質紙で鮮やかな写真印刷

風合いが好まれ人気の高い上質紙を使い、写真のシャドーの沈みを抑えることにより、より鮮やかにすることにトライしました。



労働慣行

Labor practice



安全で安心な職場環境づくりと
多様な価値観から多くのチャレンジが生まれる
人が輝ける会社づくりに取り組みます

労働安全衛生

従業員の健康を守り、安全で快適な職場環境をつくるために、様々な取り組みを行っています。定期健康診断をはじめ、有機溶剤を扱う従業員は労働安全衛生法に則り、有機溶剤における中毒予防のための健康診断を年2回行うとともに、作業環境の測定を実施し、健康障害の防止に努めています。

人権・ダイバーシティ

札幌大同印刷は、「互いの人間性を尊重し、幸福の実現を目指す」を行行動指針に定め、ステークホルダーの多様性を尊重し、従業員が能力を発揮できる組織を目指しています。また、差別やハラスメントの防止は企業の重要なリスクマネジメントと認識し、全従業員に対し研修を実施し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

人財の育成

札幌大同印刷は、会社の財産である従業員の多様性を尊重し、一人ひとりの能力に応じた成長をサポートするとともに、職業人としての誇りと自覚を高め、能力を発揮できる職場環境づくりに努めています。また、ものづくりに真摯に向き合い、社会や時代の変化を柔軟に受けとめ、創造性と協調性のある考え方方が出来る人財を育てることで、人と企業の持続的な成長につなげていきます。

メンタルヘルス

身体だけではなく、心も健康で生き生きと活躍するために、社内各部門や社外の専門機関などと連携し、各方面から従業員をフォローするよう努めています。また、今後はワークスタイルの変革や柔軟な働き方ができる体制づくりに取り組んでいきます。

セクシュアルハラスメント等防止に関する基本方針

制定 2010年6月1日

1. 職場におけるセクシュアルハラスメントは

労働者の個人としての尊厳を不当に傷つける社会的にも許されない行為であるとともに、労働者の能力の有効な発揮を妨げ、また、会社にとっても職場秩序や業務の遂行を阻害し、社会的評価に影響を与える問題です。

2. 我が社は下記の行為を許しません

- 身体への不必要的接触
- 性的な冗談、からかい、質問
- 性的な噂の流布
- 交際、性的な関係の強要
- わいせつ図面の閲覧、配布、掲示
- 性的な言動に対して拒否等を行った社員等に対する不利益取扱い
- 性的な言動により社員等の就業意欲を低下させ、能力発揮を阻害する行為
- その他社員等に不快感を与える性的な言動 など

3. この方針の対象は

正社員、派遣社員、契約社員、パート・アルバイト等、当社において働いている方すべて、また、顧客、取引先の社員の方等も含みます。

4. 相談窓口

職場におけるセクシュアルハラスメントに関する相談(苦情を含む)窓口を設け受け付けます。電話、メールでの相談も受け付けますので、1人で悩まずにご相談ください。また、左記2に当るかどうか微妙な場合も含め、広く相談に対応し、事案を対処します。

5. セクシュアルハラスメントの行為者に対して

「就業規則第35条(減給、出勤停止、降格)の(4)職場内の秩序風紀をみだす行為があったとき(10)素行不良その他会社の対面を汚す如き行為のあったとき、第36条(懲戒解雇)の(5)会社の秩序統制風紀をみだしたとき(6)上長並びに従業員に対して暴行脅迫を加えたとき、又は業務の遂行を妨害する等の行為のあったとき」にしたがった懲戒処分を行います。

6. 相談者はもちろん、事実関係の確認に協力した方に不利益な取扱いは行いません。



地域社会

Community

企業市民として地域社会の課題解決につながる
コミュニティへの参画と本業を通じて貢献し
地域社会に根ざした活動を続けています



1

2

3



4

5

6



7

8

9

DAIDOクリーンアップ2018～身近なごみ問題から～ 1~10

私たちの北海道を私たちの手で世界一きれいな場所にする、全道一斉ごみ拾いのムーブメント「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」の呼びかけに賛同し、厚別本社及び豊平営業所周辺のごみ拾いを毎年行っています。

従業員からは、「日々キレイにすることが大事だと感じました」「近所の方にお疲れさまと声を掛けられ嬉しかった」などの感想もあり、ごみ拾いを通じて環境保全への意識も高まり、地域社会とのコミュニケーションにもつながっています。

環境報告書展～事業者と社会の環境コミュニケーション～ 11・12

2018年3月、札幌市地下歩行空間・札幌市エルプラザの2会場にて、事業社と社会の環境コミュニケーションツールである環境報告書やCSRレポートなどの公開と配布を行う「環境報告書展」に参加しました。

ペーパーフォーチルドレン～紙を子どもたちに～ 13

札幌大同印刷は、印刷用紙を印刷機械毎の大きさに断裁する際に出る端切れや、印刷予備紙の余り、古くなつて変色してしまい製品に出来ない用紙などをリサイクル前に有効活用するために、札幌市内で遊びを通した仲間づくりや地域の交流を深める活動している、札幌市児童会館、札幌市青少年山の家に用紙を提供しました。

札幌市環境教育基本方針改訂に係るWS 14

「環境に配慮した行動が社会全体に定着し、次世代に引き継がれていくこと」を目的とした「札幌市環境教育基本方針」の改訂に係るWSを札幌市が開催。事業者の立場として参加しました。

札幌市環境プラザ展示リニューアルWS 15・16

2017年に引き継ぎ札幌市環境プラザが、より実践的な学習内容となる展示や情報の発信源となるようWSに参加しました。「入口」「つながる」「変わる」をコンセプトに話し合いが重ねられ、2018年2月にリニューアルされました。



11

12

13



14

15

16



17

18

19



20

21

22



23

24

25

第12回環境科学展～エコを楽しく学ぶ～ 17・18

2018年10月20日、札幌市青少年科学館にて「第12回環境科学展」が開催され、子どもたちに動物たちのことを考えてもらおうと、ぬりえを通して自由に色をつけながら生物の多様性を考えもらいました。

さっぽろキャンドルナイト2018～でんきを消してスローな夜～ 19

2018年6月21日夏至の日、1年中で一番昼が長い夏至の日の夜8時から10時までの2時間「電気を消してスローな夜を過ごそう」という、さっぽろキャンドルナイト実行委員会の呼びかけに賛同し、従業員への残業の抑制やその家族、お客様、取引先様などにもキャンドルやパンフレットを配布し、キャンドルナイトへの参加を呼びかけました。キャンドルナイトを通じて、環境を始め地域社会の様々な問題を知り、考えるきっかけにつながっています。

セントラルオリジナルノート～トモエリバー～

20~25

札幌の文房具専門店・大丸藤井セントラル株式会社様の文房具に対する思いと、札幌大同印刷の技術が結びつき、紙と製法にこだわり、書き手のニーズに応えたコラボレーション企画「セントラルオリジナルノート・トモエリバー」を製作発売いたしました。

「文房具見本市」「文房具マルシェ2018」などの文房具イベントでは、実際に従業員が店頭に立ち、お客様にノートの特徴や製法を説明したり、書き心地に対する意見を聞くなど、販売を通して改めてモノづくりへの奥の深さを経験し、多くのことを学ぶことが出来ました。

今後も同じ地域で営む企業同士がパートナーとして手を結ぶことで、地域社会の活性化につなげていきたいと考えます。

トモエリバー用紙は環境への負荷を低減するECF(無塩素漂白)パルプを使用し、塩素ガスを使用しないことで有機塩素化合物(AOX)の発生を防いでいます。